

川崎市 市民ミュージアム 講座

参加費無料

4 講座

今年は
宮前区
で開催!

川崎市市民ミュージアム職員が研究分野や専門領域を分かりやすく解説します。
今年度は川崎の歴史に関する内容や映画フィルムの保存・修復について、
さらに当館が所蔵する版画などに用いられている紙に関する講座など幅広い内容で開催。
興味のある講座はもちろん、はじめて知る分野にもお気軽にお申込みください。

日時 2026年9月26日(土)・27日(日)

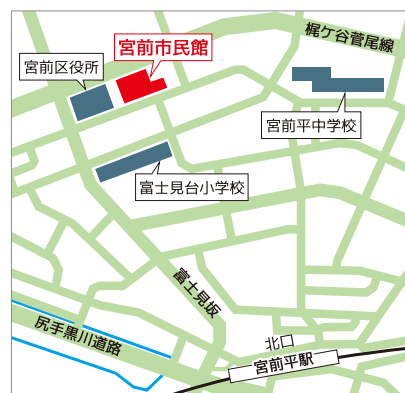
午前▶10:30~12:00(受付10:15から) 午後▶13:30~15:00(受付13:15から)

定員 各回40名 事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

会場 宮前市民館 4階 第4会議室 (川崎市宮前区宮前平2丁目20番地4)
東急田園都市線 宮前平駅下車 徒歩10分

申込方法 川崎市市民ミュージアムWebサイトのイベントページよりお申込みください
<https://www.kawasaki-museum.jp/event/34409/>

詳細はこちら▶



9月26日 土

10:30~12:00

講座① 1日でめぐる西国三十三所？ —「京浜・東横電鉄沿線出開扉」を読む—

講師 鈴木 勇一郎 (上席研究員)

西国三十三所は、近畿の観音霊場めぐりです。昭和10年、東京や川崎市内を走る京浜・東横沿線の寺院で、この霊場めぐりを体験できる「出開扉^{でかいひ}」が行われました。当館所蔵の資料から信仰と行楽の結びつきを紹介します。



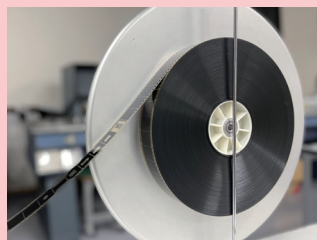
西国三十三所京浜東横沿線出開扉パンフレット
昭和10年(1935) 川崎市市民ミュージアム蔵

13:30~15:00

講座② 知りたい!映画を守る仕事 —映画の保存と復元—

講師 安藤 美由 (映画・映像担当) / 郷田 真理子 (映画・映像スタッフ)

いつでも時代を超えて楽しめる旧作映画、その裏側に映画の保存と復元の仕事があります。映画の色調再現、劣化フィルムの修復、被災フィルムの救済など、映画を残す現場について紹介します。



映画フィルム



カビの生えた映画フィルム

9月27日 日

10:30~12:00

講座③ 六郷橋と六郷渡船 —多摩川を渡す人々—

講師 松本 知佳 (歴史分野担当学芸員)

江戸時代に將軍から庶民まで利用した六郷渡船は明治に入って六郷橋に切り替わります。そこには渡船と架橋それぞれに携わる人々のせめぎ合いがありました。今に遺る資料から、その様子を紹介します。



東海道分間絵図(部分) 元禄16年(1703)
川崎市市民ミュージアム蔵



高札(六郷川渡船賃銭額二付)
明治12年(1879)
川崎市市民ミュージアム蔵

13:30~15:00

講座④ 紙・めくるめく

講師 奈良本 真紀 (教育普及担当学芸員)

紙は「文化のパロメータ」と言われてきました。本講座では、当館の収蔵品から浮世絵や日本画といった紙に表された作品などを取り上げ、紙の視点から解説。魅力あふれる紙の世界にいざないます。



楮(こうぞ)の花



豊原周《見立富士十六景 藤沢》
川崎市市民ミュージアム蔵

申込方法 事前申込制

申込期間▶ 8月24日(月)10:00~9月14日(月)16:00

【Web申込】

川崎市市民ミュージアムWebサイトの
イベントページよりお申込みください
<https://www.kawasaki-museum.jp/event/34409/>



▲お申込みはこちら

【郵便】

往復ハガキに下記の項目をご記入のうえ当館宛に郵送(締切日必着)

往信(裏面) 参加を希望する講座名、参加者の氏名(複数名で申込み際は代表者のお名前)、申込人数、電話番号

返信(表面) ご自身の郵便番号・住所・氏名

送付先 〒215-0021

川崎市麻生区上麻生6-15-2 川崎市市民ミュージアム宛

※1枚のはがきで複数の講座へのお申込み可

※1組4名まで応募可

※申込多数の場合は抽選。9月19日(土)までに当選者のみに連絡します

(往復はがきの場合は当落いずれも通知。Web申込の場合は当選者のみにメールで連絡します)



川崎市市民ミュージアム IN ACTION